

公益社団法人 大阪府看護協会
日本国際看護師養成研修
2019 年度 募集要項

我が国の国際化に伴い、在留・定住外国人が増加してきている。それに伴い、外国人患者の増加がみこまれ、国は体制づくりをはじめている。医療現場では外国人患者のニーズに対応すべく、多文化の視点をもった看護が求められている。

このような社会的ニーズを踏まえ、大阪府看護協会は平成 30 年 10 月から「日本国際看護師」の養成研修を開講し、大阪はもとより日本国内で国際的な医療・看護のニーズに対応できる日本国際看護師の育成を行っている。

日本国際看護師養成研修は多文化にかかわる、もしくは多文化における医療・看護に興味関心がある看護職に自律自発的に研鑽しあえる教育・研修の場を提供し、日本国際看護師の資質・水準の維持および向上を目指す。

I. 教育理念

多様なヘルスケアニーズをもつ多文化における患者・家族に対し、診療等の場面において、言語、文化・社会的背景が異なる患者と看護職・多職種との間で文化的橋渡しを行い、中立の立場で両者の相互理解を深め、患者の意思決定支援を行うことができる。患者のニーズに沿った看護計画の立案・看護実践ができ、患者がより質の高い医療を受けることへの支援ができることを目的とする。

教育目的	授業科目	時間数
1. 日本国際看護師として必要な 基礎的知識・技術・態度を習得する。	日本国際看護師の概要	6
	医療保障制度	3
	多文化の理解	6
	多文化コミュニケーションの理解	3
	医療英語とやさしい日本語	9
	救急看護の基礎知識	4.5
	感染症の基礎知識	4.5
	多職種とのコーディネート	3
	日本国際看護師の実践	9

計 48 時間

II. 授業科目のねらい

授業科目	ねらい
日本国際看護師の概要	1. 日本国際看護師の役割を理解し、必要な思考、姿勢、知識、スキルを知る。
医療保障制度	1. 我が国の医療保障制度を理解する。 2. 外国の医療保障制度について知る。
多文化の理解	1. 定住外国人の現状、在留資格、滞在ビザについて理解する。 2. 健康や医療、コミュニケーションに関連した生活習慣、価値観、宗教観や思想などの文化的・社会的背景を理解する。
多文化コミュニケーションの理解	1. 多文化におけるコミュニケーションに影響を与える言語・非言語メッセージについて理解する。
医療英語とやさしい日本語	1. 医療英語とやさしい日本語 1) 主な検査を知る。 2) 主な検査に伴う看護について医療英語・やさしい日本語を知る。 2. 医療英語 1) 主な治療と治療に伴う看護について医療英語を知る。
救急看護	1. 救急看護に必要な医療英語を知る。 2. 救急における基礎的な対応を知る。
感染症の基礎知識	1. 主な感染症について医療英語を知る。 2. 感染症に対する基礎的な対応法について知る。
多職種とのコーディネート	1. 多職種と協働するためのコーディネートを学ぶ（チームビルディング）。
日本国際看護師の実践	1. 既習内容（医療保障制度、主な疾患・治療・看護、多職種とのチームマネジメント）を用いて日本国際看護師に必要な技術を身に付ける。

Ⅲ. 求める資質

知識

- ・ 基礎的な医療英語を有していることが望ましい。
- ・ 医療における国際的な患者の権利、患者の健康、医療、コミュニケーションにかかわる文化的背景および社会的差異の基礎的な知識がある。
- ・ 我が国、主な外国の医療保障制度、在留資格、他機関の役割に関する基礎的な知識を有している。

能力とスキル

- ・ 多文化コミュニケーションの基礎的な知識とスキルを有している。
- ・ 医療場面に応じ、看護ニーズを伝え、多職種の協力を求められる。

倫理

- ・ 役割を自覚し、業務規程、看護倫理に則って対応し、責任をもって行動できる。
- ・ すべての患者・家族に中立・公平な態度で接することができる。
- ・ 職務上知りえた情報の秘密を保守し、プライバシーの保護に努めることができる。

Ⅳ. 受講要件

- ・ 多文化における医療・看護に関心がある。
- ・ 日本看護協会の会員である（他都道府県会員も受講可能とする）。
- ・ 日本看護協会版クリニカルラダーレベルⅢ以上を有している、もしくは実務経験 5 年以上を有している。
- ・ 他言語で日常会話が行える。

Ⅴ. 修了要件

1. 全研修に参加すること
2. 単元毎のテスト
 - 1) いずれのテストも 80%以上に合格すること
3. レポート
 - 1) 提示された期限内に提出すること
 - 2) 80%以上に合格すること